

【熟成過程でジンセノサイドが変化します】

※ジンセノサイドの図はイメージです。

1 生の高麗人参

ジンセノサイド

高機能成分

糖

複数の糖が付いており、ジンセノサイドの分子が大きい。

ジンセノサイドの分子が大きく、身体に吸収されにくい状態です。

2 紅参

紅参への加工段階で、一部のジンセノサイドは分解が始まります。

3 紅参エキス

ジンセノサイド

加熱

紅参から抽出したエキスを、3～5日かけて加熱・攪拌。ジンセノサイドの分解が格段に進みます。

4 プレミアムジンセノサイド

Rg3 新たに誕生!

Rg2 Rg5

吸収性UP!!

分解が進むほどに吸収性が向上。希少な**プレミアムジンセノサイド**も誕生します。

本題に入る前に、高麗人参の有用成分ジンセノサイドについて、おさらいしておきましょう。

ジンセノサイドは40以上の種類があり、一つひとつ異なる薬理作用を持ちます。そのため、効果を得るには、多種類のジンセノサイドをバランス良く摂ることが重要です。私たちは



希少な成分に至っては、生の高麗人参には含まれてすらいません。そんな高麗人参から、黄金バランスを生み出すのに欠かせないのが、今回のテーマである「熟成」なのです。

熟成とは一般的に、物質を適当な条件の下に長時間置き、ゆっくり化学変化を起こさせることをいいます。冒頭で紹介した熟成肉という、たんぱく質からアミノ酸への変化がそうですね。

エキス熟成の場合、エキスをじっくり加熱・攪拌する中でジンセノサイドが分解され、低分子のジンセノサイドに変化します。熟成の先には、希少なプレミアムジンセノサイドも誕生。このように、熟成によって変化することこそ、各成分のバランス調整が可能になるのです。

黄金バランスこそが理想の薬効を生む!

熟成過程で成分のバランスを整えます。

—— ジンセン・レポート ——
Ginseng Report

研究開発室から最新の高麗人参情報をお届けします!



熟成の秘密。

和漢の王様・高麗人参の可能性を飛躍させる、

食品の旨味や香りを引き出す手法として、今注目の「熟成」。この熟成を高麗人参に応用すると、風味のみならず、薬効をも飛躍的に高めることができます。今回はそんな、素晴らしい熟成についてご紹介します。

—— コラム —— 飲食業界では熟成肉がブーム。

一定の条件下で肉を寝かせると、たんぱく質がアミノ酸へと分解され、独特の旨味が生まれます。こうしてできた熟成肉は、専門店が続々オープンするほど人気を集め、熟成ブームの火付け役になっています。



熟成

次ページで、いよいよ黄金バランスを生み出す独自の熟成技術が明らかに!



高麗人参の
極み！

黄金バランスを叶える 独自の熟成技術！

綿密な計測（チェック）が肝心！

黄金バランス完成への道のり



紅参原料



成分チェック

紅参粉末



成分チェック

エキス抽出



成分チェック

ブレンド



成分チェック

黄金バランスを作り出すには、熟成前の各加工段階から、どのような成分バランスが必要かを逆算してチェックする必要があります。

紅参から抽出したエキスの成分を、再びチェック。

黄金バランスに近づけるため、複数のエキスをブレンドします。

熟成



1日3回は成分を測定し、熟成の進み具合をチェック。

測定中にも熟成は進むため、常に先の状態を予測しなければなりません。

幅広い薬効を持つ理想の
黄金バランスが完成！

これぞ**万能薬** 独自の熟成技術で実現！
黄金バランスが生む**多彩な薬効**

プレミアムジンセノサイドを始め、さまざまなジンセノサイドが機能し、幅広い症状を改善します。



ジンセノサイドの
変化を見極め、
バランスを徹底追求。

熟成でバランスは調整できますが、やみくもに行っても、黄金バランスにはたどり着きません。少し温度が低かったり、熟成時間が長過ぎたりしただけで、ジンセノサイドの種類や量に偏りが出てしまいます。そのため、最適な加熱温度・時間を見出すには、何年もの試行錯誤が必要でした。

しかも、いつも同じ製法が通用するわけではないのが、自然素材の難しいところ。原料や加工状況によって、成分の状態が変わるので、その時々で適した熟成加減を見極めなければいけません。完成までに、何度も成分をチェックしながら、黄金バランスを作り上げていくのです。

黄金バランスによって
万能薬・高麗人参の
真価が発揮されます。

黄金バランスを叶えた高麗人参は、多種類のジンセノサイドが、それぞれの薬理作用を最大限に発揮できる状態にあります。さらに吸収性も大幅に高

ポイント 分析力も黄金バランスのカギ！

黄金バランスを実現するには、一つひとつのジンセノサイド量を計測できる、分析力も重要です。私たちも、研究を始めた当初は、6種類のジンセノサイドしか分析できませんでした。そこから研究を重ね、現在は32種類を分析するに至りました。これは、日本屈指の分析力と自負しています。



研究を重ねて
編み出した製法です！

金氏高麗人参(株)
研究開発室 主席研究員
理学博士 三原 憲一

皆様がこの高麗人参によって、今の不調を解消されることはもちろん、5年後、10年後…と生涯健康に過ごされることを、心より願っております。

また、全身に効果が行きわたったり、不定愁訴から慢性病、難病までじっくり改善していきます。ここまで幅広い薬効領域は、従来の高麗人参ではなし得なかったといえるでしょう。